

美しいむらづくりネット

編集 馬瀬地方自然公園づくり委員会 情報発信部 0576-47-2111
発行 No. 3 平成21年1月10日

40年前からの取り組みが活きる

「美しい村」連合に加盟している先進地域開田高原へ視察・研修に出かけました。Uターン、都会からの観光客も多いこの地域も、長年の住民活動が築いたものでした。



美しい御岳をバックに（九蔵峠にて）

開田高原を訪れた日は好天に恵まれ、青空と紅葉と雪を冠った御岳の素晴らしい風景を目にすることが出来ました。

検討を重ねてこられ、参加者全員が自分の考えを出し合い、協働作業を通してお互いの考え方や立場の違いを理解しながら計画づくりを進められました。その結果、地域住民全体に意識が浸透し、共通の認識が生まれたのだと思いました。

現在、この地域では、過疎の中山間地域としてはめずらしく、10年間人口・定住ともに横ばい状態です。県外からのUターン・Uターンの増加しており、ここで新しい仕事を始める人も出てきています。

観光客についても順調に伸びてきており、新しい企業も軌道に乗ってきています。開田高原は全国的にも有名な観光地で、常

にマスコミに紹介もされ、そんなに宣伝をしなくても観光客は来てくれます。しかしそれには今日まで環境を守るために地道に取り組みでこられた地域協議会の努力があったことを改めて知りました。

「美しい」というと、まず景色に意識がいきがちですが、「人情」や「気くばり」も大切なこと。住民の気持ちの「優しさ」が人の表情の「美しさ」をつくり、それが景観として現れ、来訪者に対して「おもてなしの心」が生まれ、それをおして「幸せなむらにしよ」と言う気持ちになる。

夏の観光シーズンには、毎日ホームページを更新して情報発信もしておられるということでした。現地を視巡してとても参考になった研修でした。



開田高原地域協議会のみなさまから、その活動についてのお話を伺いました。

旧開田村では昭和47年に開田高原開発基本条例を制定し、今日まで行政と住民が一体となって集落内の景観整備事業に取り組みんでこられました。少子高齢化が進み、高齢者世帯が多いなかで「地域まちづくり計画」策定の基本は「人と人とのつながり」や「仲間づくり」にあるとの観点から、計画づくりの初期の段階から「区長会」と「専門委員会」で参加型の研究会と言う方法で

「美しい村・馬瀬」のテレビ放映を見て

日本の農山村の景観や環境、文化を守り観光付加価値を高めることを狙いにしたNPO法人「日本で最も美しい村」連合に加盟している村を紹介する番組で、11月18日馬瀬が紹介されました。鮎の釣り場として知られる馬瀬川の景観が魅力的で、馬瀬川を中心に川とともに生活する村、残したい日本の原風景がある村としての視点で製作されていました。

★ ハイビジョンの映像は美しく、普段見ている馬瀬がよりいっそう「美しい村」に見えました。このまま守っていかねば不安も感じました。

★ 改めて川があんなにきれいだったのかと思いました。都会の方が自然を求めて馬瀬に来られる気持ちが分りました。

★ 馬瀬地域の取り組みや「美しい村」に選ばれた流れなどが分りづらかった。BSが見られない人が多く残念でした。

★ 馬瀬振興事務所では、この放送のDVDを希望者に貸し出しをいたしますので、お問い合わせください。

一般的に田舎・馬瀬にもとめられるものは

のんびりゆっくり出来ること



外部評価部会では、外部の人たちが田舎・馬瀬に対してどのようなイメージを持っておられるか、インターネットによる調査を行いました。そこから見えてきたことは……。

田舎の関するアンケート（要約）

問1 馬瀬地域のような田舎へは、宿泊・日帰りを含めて年に何回位訪れますか？

- ①20回以上 ②10～19回 ③5～9回
- ④1～4回 ⑤全く行かない

問2 田舎に求めるものは何ですか？

- ①特産品を買う
- ②自然体験（川遊び、紅葉狩りなど）
- ③農業体験（芋掘り、稲刈りなど）
- ④温泉入浴
- ⑤地元民との交流
- ⑥アクセスが整っている
- ⑦その他

問3 田舎への宿泊旅行で優先することは？

- ①宿泊料金が安い
- ②宿泊施設が整っている
- ③接客サービスが良い
- ④料理が充実している
- ⑤地域の個性を味わうことが出来る
- ⑥その他

問4 田舎へ出かける場合、所要時間は車で何時間ぐらいが良いですか？

- ①1時間以内 ②2時間以内 ③3時間以内
- ④4時間以内 ⑤それ以上

問5 田舎への情報は何かから得ていますか？

- ①旅行雑誌など ②インターネット
- ③旅行会社のパンフレット ④テレビ
- ⑤新聞 ⑥その他

問6 馬瀬をご存知ですか？行ったことはありますか？

- ①馬瀬を目的に行ったことがある
- ②他へ行ったついでに寄ったことがある
- ③行ったことはないが聞いたことはある
- ④その他
- ⑤全く知らない

問7 馬瀬の特産品のうち最も食べてみたいものはなんですか？

- ①馬瀬川の鮎 ②ケーちゃん ③ね寿司
- ④朴葉すし ⑤お漬物 ⑥その他

問8 馬瀬でできる体験の中で体験したいものはありますか？

- ①釣り ②農業体験 ③自然体験 ④昔の遊び
- ⑤手作り ⑥ウォーキング ⑦他

問9 現在馬瀬地域ではウォーキングコースの設定を進めていますが、時間はどのくらいが良いですか？（往復）

- ①1時間以内 ②3時間以内 ③半日以内
- ④1日 ⑤その他

問10 今後も馬瀬に行ってみたいですか？その理由もお書きください。

- ①のんびり出来る ②特産品を食べる
- ③温泉入浴 ④近いから ⑤農業・自然・ウォーキングなどの体験がしたい
- ⑥その他 ⑦行きたくない理由

問4 所要時間は？

24% 宿泊料金が安い 18%

問3 旅行で優先することは？

13% 地域個性を味わう 35% 料理が充実

問2 田舎に求めるものは？

43% 自然体験 43% 温泉入浴 33% 特産品を

問1 田舎への旅行は？

アンケートの結果

13% 1～4回 48% 全く行かない 43% 自然体験 43% 温泉入浴 33% 特産品を 13% 買う

馬瀬に観光客を誘致するには、観光客がどんな考え、どんな期待を持っているかを知ることが必要です。そのために外部評価部会では、左記のような「田舎に関するアンケート」を実施いたしました。

問5 情報の入手先は？

3時間以内 44% 2時間以内 40% 4時間以内 11%

問6 馬瀬を知っていますか？行ったことはありますか？

インターネット 48% 旅行雑誌 24% テレビ 11%



問7 食べてみたいものは？

馬瀬川の鮎 44% ケーちゃん 21% 朴葉すし 20%

問8 やってみたい体験は？

手作り体験 32% 自然体験 27% 釣り 24% ウォーキング 11%

問9 ウォーキングの時間はどれくらい？

3時間以内 47% 1時間以内 42%

問10 馬瀬に行ってみたい理由は？

のんびり出来る 37% 温泉入浴 36% 特産品を食べる 14%

結果から見えてくることは

一般的に田舎に期待されていることは、自然の中でのんびり過ごすことであり、温泉入浴やその土地での自然体験が求められています。しかし問6からも分るように、馬瀬の知名度はまだ低く、今後の情報発信のあり方に課題があるようです。

馬瀬の鮎に対する期待は大きく、今後も鮎を中心に、鮎の味、漁獲量を守るための努力が大切ではないかと思えます。清流馬瀬川と鮎は馬瀬の宝物です。

